

# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 1 施設規模見直しの背景

- ・市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えない。
- ・建築資材や労務単価の上昇に伴う建設コストが想定以上に上昇しており、施工予定者から提示された概算工事費見積額と市が示した工事参考価格では大きな乖離（約60億円）があった。

## 2 施設規模見直しの考え方

**病床数** : 令和5年度の両病院の入院患者数を基礎とした患者推計を行い、必要病床数を再設定する。

**必要諸室** : 入院・外来の患者推計を踏まえ、必要諸室数の再検証を行う。

**部門配置** : 基本設計段階で検討した病院機能や部門間の連携に配慮した配置は、可能な限り踏襲する。

**延床面積** : 新病院に必要な医療機能は維持しつつ、可能な限りコンパクトな病院となるよう削減する。

両病院間で施設規模の見直し検討

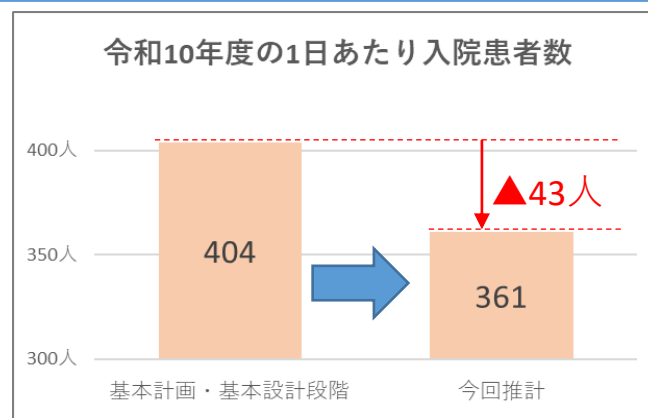
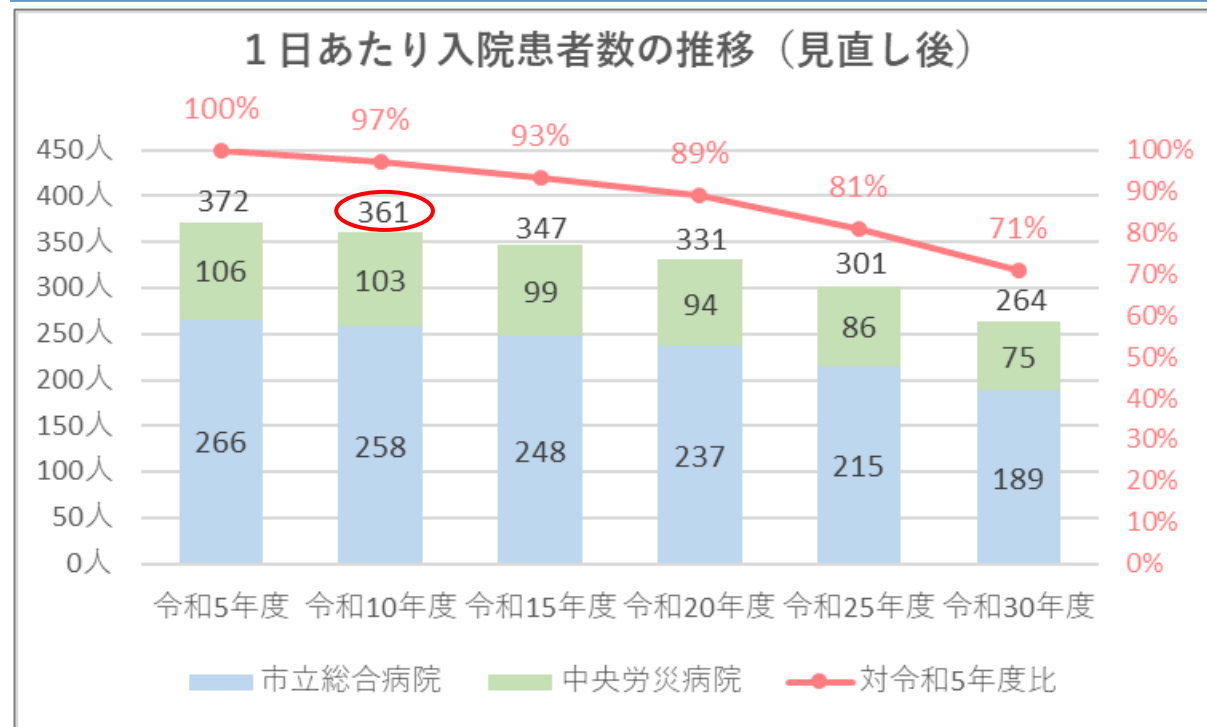
令和6年7月 「新病院の施設規模見直し（中間報告）」

# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 3 入院患者数の推計と病床数の設定

### (1) 入院患者数の推計

- ・両病院の1日あたり入院患者数の推計によると、長期的な減少傾向が続き、令和30（2048）年度には、令和5（2023）年度の71%となることが見込まれる。
- ・新病院の開院予定である令和10（2028）年度の患者需要は361人で、基本計画・基本設計段階（404人）より43人少ない見通しとなった。



（推計方法）

両病院の令和5年度入院患者数、厚生労働省による「令和2年（2020）患者調査」、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いた独自推計による

# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 3 入院患者数の推計と病床数の設定

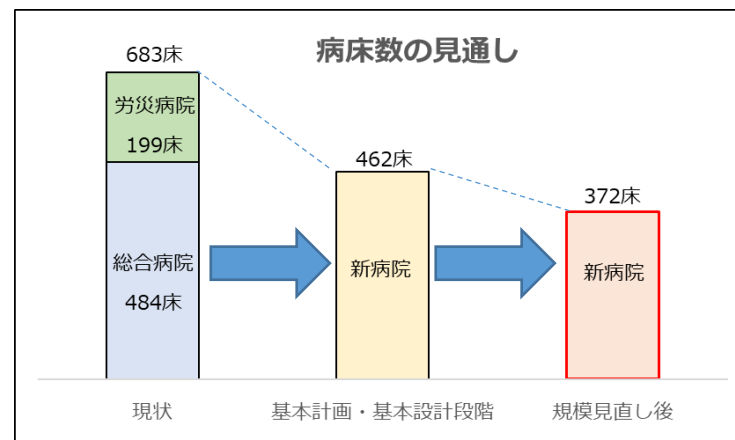
### (2) 病床数の設定

(考え方)

- ・患者推計における将来需要のピークである新病院開院予定の令和10（2028）年度の患者需要に対応できる病床数を整備する。
- ・効率的な看護配置を実現するため、一病棟あたり34～35床を基本とする。
- ・効率的なベッドコントロールが可能となるよう、一般病棟は個室を基本とした配置とし、高い病床利用率での運営も可能とする。
- ・HCU（高度治療室）、SCU（脳卒中集中治療室）、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟及び精神病棟は、対象となる患者数を踏まえた病床数とする。

#### ■ 上記方針を踏まえた規模見直し後の病床数

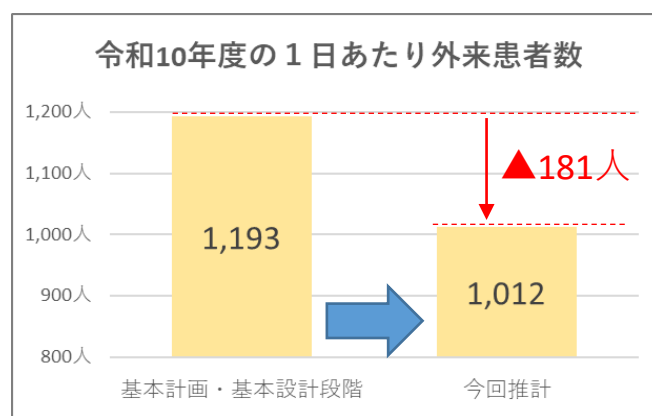
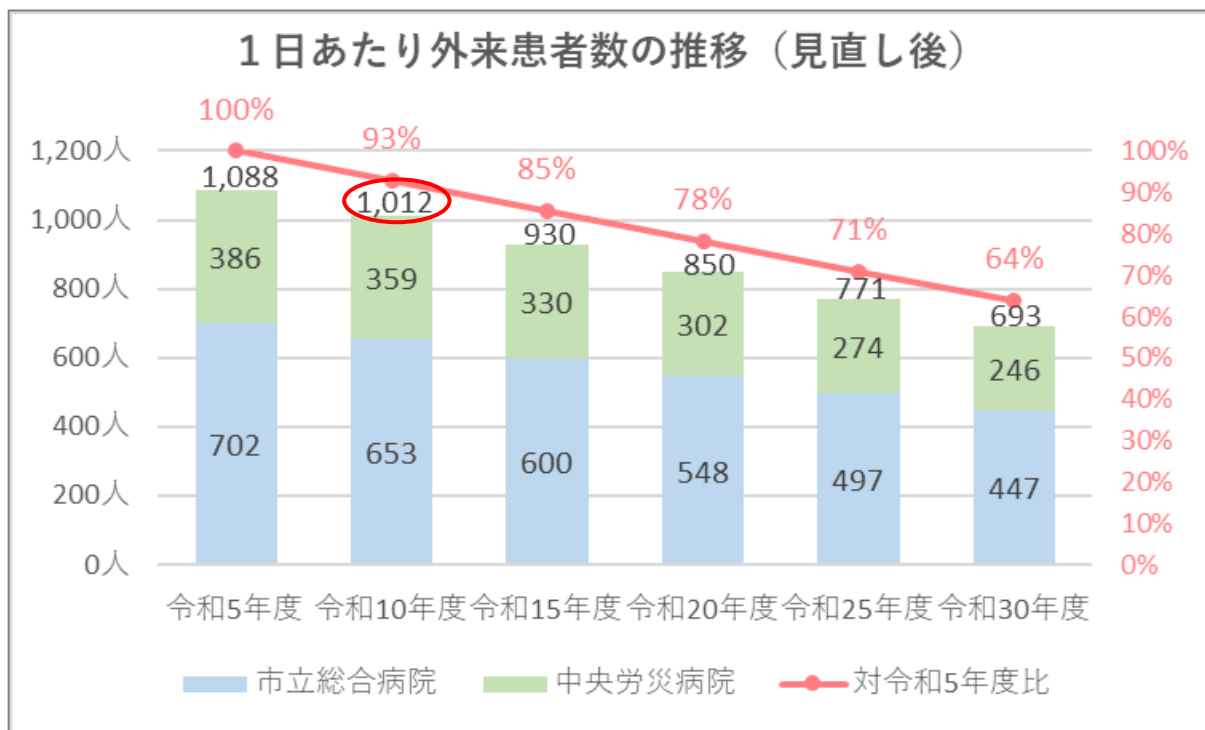
	基本設計時	規模見直し後	増減
一般病床	388床	306床	▲82床
急性期一般病棟	310床	230床	▲80床
HCU（高度治療室）	12床	12床	0床
SCU（脳卒中集中治療室）	6床	6床	0床
緩和ケア病棟	20床	20床	0床
回復期リハビリテーション病棟	40床	38床	▲2床
精神病棟	70床	62床	▲8床
感染症病床	4床	4床	0床
合計	462床	372床	▲90床



# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 4 外来患者数の推計

- ・両病院の1日あたり外来患者数の推計によると、入院患者数よりも減少率が高く、令和30（2048）年度には、令和5（2023）年度の64%となることが見込まれる。
- ・新病院の開院予定である令和10年度の患者需要は1,012人で、基本計画・基本設計段階（1,193人）より181人少ない見通しとなった。



（推計方法）

両病院の令和5年度外来患者数、厚生労働省による「令和2年（2020）患者調査」、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いた独自推計による

# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 5 主な見直し項目

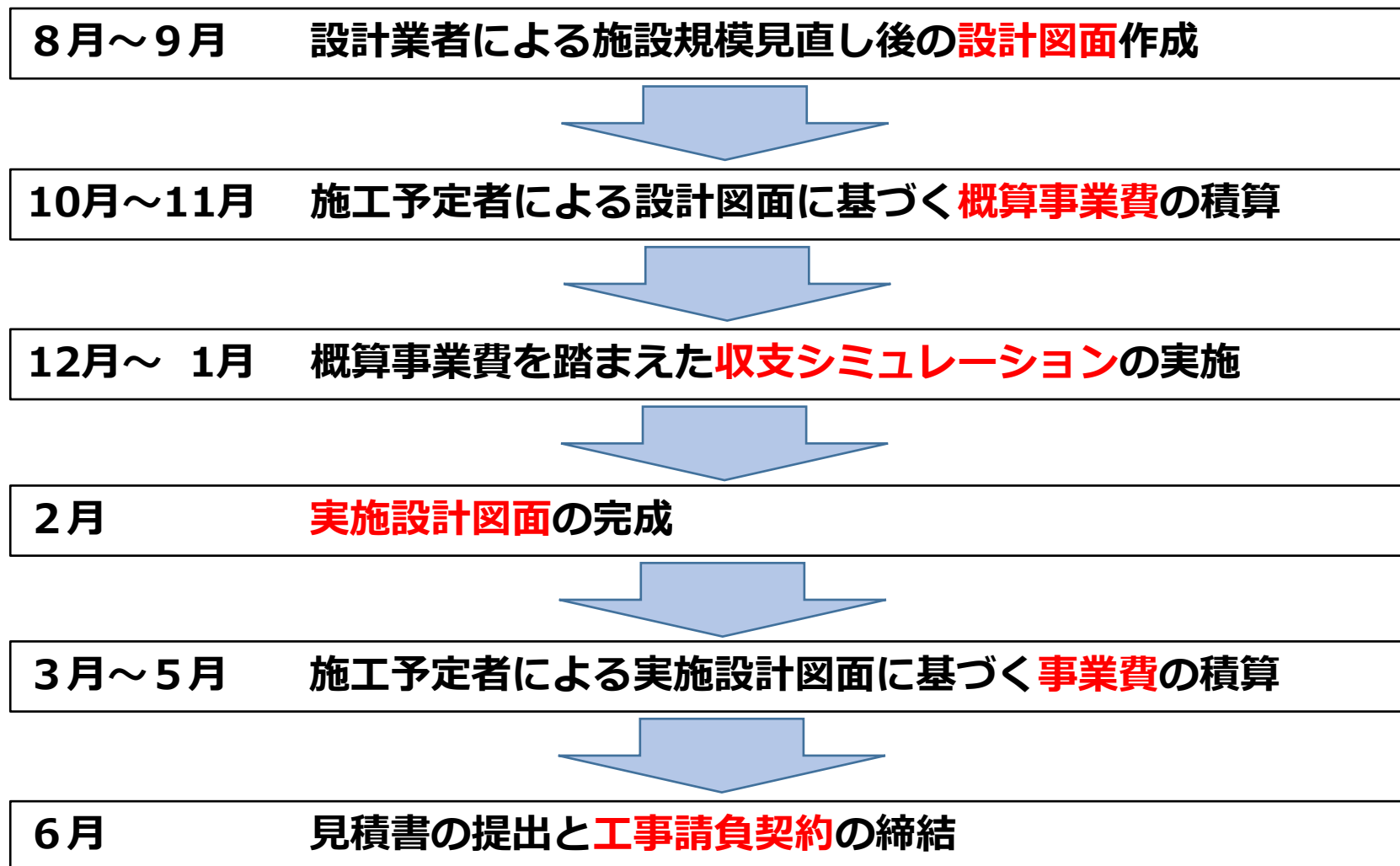
入院や外来の患者推計を踏まえ、病床数だけでなく、外来関連の診察室などの数を見直すとともに、新病院に必要な機能を維持しつつ、可能な限りコンパクトな病院となるよう見直しを行った。

項目		基本設計時	規模見直し後
病院概要	診療科	28科	<b>27</b> 科（呼吸器外科の減）
	病床数	462床	<b>372</b> 床
建物概要	建築面積	約8,870㎡	約 <b>7,000</b> ㎡
	延べ床面積	約40,280㎡	約 <b>32,500</b> ㎡
	階数	地上9階／地下1階	地上 <b>8</b> 階／地下1階
配置計画	駐車場	約1,000台	約 <b>900</b> 台
建物構成	フロア構成		栄養部門を地下から8階へ配置 精神医療センター（外来）を2階に配置
	昇降機	11台（一般用3台、健診・透析用1台、 物品搬送・職員用6台、救急用1台）	<b>10</b> 台（一般用3台、健診・透析用1台、 物品搬送・職員用 <b>5</b> 台、救急用1台）
	外来診察室	41室	<b>37</b> 室
必要職員数 （正規・非正規）		医師80人、看護師512人、 薬剤師30人、医療技術職156人、 事務職等188人、 <u>合計966人</u>	医師76人、看護師449人、 薬剤師28人、医療技術職151人、 事務職等176人、 <u>合計880人</u>

# 新病院の施設規模見直し（中間報告）について

## 6 実施設計段階の今後の予定

令和6～7年度



実施設計図面